

卒業おめでとう!! 皆さんもこれから宮桜会(同窓会)の会員です。



「宮桜会」会長
黒木 洋一
(4回卒業)

卒業生へ贈る言葉

「春」それは別れと出会いのシーズン。日大高校の3年生はそれぞれに自己の目指す方向に旅立って行く事と思います。これからは日大高校のOB、つまり「宮桜会」の一員として社会に出て行く事になります。社会の中では同窓という事で力になってもらえたり、年代を超えて仲間の輪が広がったりする事があります。宮桜会ではOBが気軽に連絡が取れ、また、出会いの場を設けるために、ホームページを開設、そしてイベント型の祭典「日大ワッショイ」を今年も8月に母校で開催します。帰省が日程に合えば是非友人を誘って遊びに来て下さい。尚、昨年12月に上村支部長の下、関東支部を立ち上げました。関東に住むOBはHP(<http://www.miyaoukai-k.com>)にアクセスしてみてください。宮桜会イベントの情報は本部HP(<http://www.miyaoukai.com>)で、チェックして下さい。

宮桜会ニューストピックス

日大ワッショイ2011

第2回日大ワッショイを行います。

日程:平成23年8月21日(日)
会場:宮崎日本大学高等学校
(宮崎日大学園)

学校創立50周年に向けてのイベントです。今年、現校舎が建て替えの為、取り壊されるので現校舎を偲ぼうと言う事で開催場所を学校にしました。実行委員会により、これからいろいろな事を決定していきます。



紙屋実行委員長▶

定例会議の様子

宮桜会支部長会

平成23年1月29日(土)にホテルメリージュにて行われました。年1回、各支部長を集めての会議です。

平成22年度の「宮桜会」の活動や、支部の活動などが報告されました。



後藤宮崎日大
高校校長



上村関東支部長



支部長会の様子

第7回 宮崎日大高校卒による 教育関係者教育懇談会が 平成23年2月12日に開催されました

事務局/島原 孝仙 (14回卒:西門川中学校教頭)

日大高校卒業生で教育関係に携わっている者同士で、それぞれの枠を外し、自由に教育について語り合える懇談会を実施しています。

今回で7回目です。今年、日大高校出身で、MRTアナウンサーの田代 剛氏(33回卒)をお招きして、アナウンサーを志したエピソードやテレビ局の裏側など楽しい講演をしていただきました。



田代 剛氏

プロフィール

・昭和54年9月4日生
・宮崎日大高校(33回卒)
・現在MRT(宮崎放送)アナウンサーとして活躍中
「アップルMiyazaki」「おしえて!みやざき」などを担当



出席者



懇談会の様子

広がる宮桜会(同窓会)のネットワーク

昨年関東支部をリニューアルして新しいメンバーでいろいろな取り組みを始めました。(詳しくはホームページをご覧ください)その他にも、関西や県内各地に支部があり、それぞれの支部長のもと、さまざまな活動をしています。

●頼られる同窓会…

卒業をした方々が参加しやすい、そして、頼りにされる同窓会にしていきたい。卒業生が一つのつながりの元、集い、そして助け合っているような組織であり、卒業してからも先生や先輩方から知恵や知識を学ぶ場所であれば良いと思います。

縁あって同じ学校に入り、学び、卒業したわけですから、この縁を大切に、学校を守っていききたいと思います。

●宮桜会として、年間を通じて様々なイベントを実施しています。

①日大通信の発行(年4回)

学校・PTA・同窓会が合同で発行しています。

②日大ワッショイ

昨年、宮桜会が主催で学校といっしょに元気になるイベントを行っています。今年も会場を学校にして8月21日(日)に実施予定です。

スタッフ募集中

「日大ワッショイ!」と一緒にやりませんか。手伝ってくれる仲間を募集中です。

連載シリーズ 第3回 あの先生は今!



遠藤 正俊
先生

プロフィール

昭和43年、国語の教員として採用。在職中は、生徒指導部長、桜館長、中高教頭、そして副校長を歴任。退職後は、広報部参事として募集関係の仕事に従事。平成22年1月に体調不良で退職し、長期入院されていたが、現在は自宅でリハビリ中。趣味は、登山で富士山の他、九州内の山を中心に登山されている。

生徒指導を担当していた頃であるから20年以上も昔の思い出である。黄昏時の校内を巡回していると、見知らぬ柔道部員が自転車で体育館付近を徘徊している。質すと「大宮中2年の井上康生です。」と応える。兄が本校の柔道部員であり、荒川監督の実家の道場「静充館」に通っている縁で練習に来たのだ。練習を見ると高校生と対等以上に戦っているのが驚いた。彼のその後は皆さんご存知の通りである。

また、野球で昭和45年春の九州大会で優勝し、その年の県大会決勝でツーアウトから都城にサヨナラ負けした無念のあの一球。キャプテンは事務局に勤務する坂田さんである。

部活では様々な青春ドラマが繰り返される。卒業生と話す時、一番話題になるのは部活のことである。「東大と甲子園だけでは学園の発展は無い。総合型の高校として発展して欲しい。」が持論であるが、外にいるとやはり勝って欲しいと強く願ってしまう。校舎新築など嬉しいニュースが一杯。学園の発展を心から祈る。



戸高 昭彦
先生

プロフィール

昭和48年に英語教諭として採用。在職中は教務部の仕事を長く勤められた。ESS(英会話クラブ)の顧問でもあった。平成9年、夏の甲子園に生徒を引率し、応援したことが良き思い出のこと。退職後は中国山東省にある国立医科大学で日本語教師として勤め「日本語教師」の資格を取得。その後中国の北京、青島、国内では愛知や岐阜にあるセンターで中国人への日本語指導をしておられます。

定年退職してもう11年です。ときどき学校に行きますと、懐かしい教職員にお会いして話がはずみます。

昔も今も日大高校は文武両道に秀でていますね。この前も男子剣道部が県大会で優勝したり、女子バレー部も県大会を制した。柔道部も駅伝部も強い。そういうニュースを新聞やテレビで見ますとワクワクしますね。自分の母校よりも日大高校の方を応援します。

私は英語の教師でしたが、退職後は中国の若者たちに日本語を教える日本語教師になりました。中国の大学で一年間教えた時に感じたのは、学生は男子も女子もすごく勉強熱心ということと、彼らが日本について強い関心を持っているということでした。今私は日本で働く中国の実習生を相手に日本語を教えています。それは一年のうち一ヶ月かそこらです。たいていは家にいて、グランドゴルフや囲碁を趣味としてやっています。

宮桜会連絡所:

学校法人 宮崎日本大学学園内 担当:松本・古市
TEL(0985)39-1121 FAX(0985)39-7427 E-mail:kouhou@m-nichidai.com